

宮崎大学発 都農町かわら版

令和4年9月号



宮大が都農町寄附講座で
行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！

寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、宮崎県内では初めての取り組みです。

毎号変わる！ 都農にいる宮大のひと紹介

都農に来て淹に
癒されることが
増えました！

梶田 一旭 (のきた いっき) 先生

医学部地域包括ケア・総合診療医学講座 助教

2014年 宮崎大学医学部卒業

2020年4月～町立病院にて総合診療医として勤務
~~~~プロフィール~~~~

東京都出身、2児の父(もうすぐ3児の父になります)。  
趣味はジョギングとサウナ。最近の趣味はジョギング  
で都農町内を巡ること。

身体の不調に対して、病気の種類を問わず、まずは最初にご相談いただけるような、町民の皆様の「かかりつけ医」を目指して、  
外来や入院診療を担当しています。通院困難な場合も、適切な医療  
を提供できるように在宅医療部門の充実を図っています。町民  
の皆様の医療の安心につながるように、地域課題に対して取り組  
んでいきたいと思ひます。また、町立病院には医学生をはじめ、沢山の医師が地域医  
療を学びにやってきました。都農町に地域医療を学びに来て良かったと思ひえるような経  
験を提供できるように、住民の皆様や様々な職種の皆様と協力して地域医療実習を展  
開していきたいと思ひています。

9月のけんこう日記から (9/10から抜粋) 「なんと息子が学校からコロナ  
を持って帰ってきました。夏休みに入る2日前です。・・・」

シリーズでつづる臨場感あふれるコロナ療養生活体験記。ぜひ読んでください！

## キーワード：地域包括ケアって何だろう？

医療、介護、介護予防、生活支援に携わる専門家（医師、看護  
師、薬剤師、介護士、ケアマネージャー、ソーシャルワ  
ーカー、リハビリスタッフ、生活支援コーディネーター、地域  
包括支援センター、社会福祉協議会、管理栄養士、保健師な  
ど）がそれぞれの立場から、高齢者一人ひとりが地域で自分  
らしい生活を送るための支援をする協力体制のこと。医学部  
寄附講座では、この地域包括ケアシステムを都農町で作り上  
げることに積極的に関わっていきます。役場関係者の皆さま  
との連携が欠かせません。顔の見える関係づくりを進めるた  
め、つのまる会議はじめネットワーク作りから取り組みます。

## 8/25 つのまる会議を開催しました！

8/25(木)17：30～都農町の保健医療福祉関係の多職種約20名  
が町立病院会議室に集まり、けんこう日記の運営をどうして  
いくかなど、課題や意見を出し合い、話し合いました。



夜勤明けの看護師さんも参加に感謝。  
日記は、色々な職種の人が書く日常の  
気づきや想いをつづるものや専門知  
識が混ざること、多くの町民の方  
が興味を持てるようにしよう、とま  
とまりました。

社会福祉協議会やケア  
マネージャーの新メンバーも加わり、  
今後は色々な視点からの  
投稿が楽しみです。地域の皆さまの健康を気にして、少  
でもお役に立ちたい、その思いを同じくする「けんこう応援  
団」。ぜひ日記をフォローして、質問やコメントで皆さんか  
らも応援ください！

私も応援団に加わりたいという専門職の方も大歓迎です。  
栄養士さん募集中！お問合せ⇒つの未来財団 黒木聖保まで

町のけんこう応援団が毎日  
けんこう日記を書いているぴょん  
質問箱もあるぴょん！



都農けんこう日記 検索

# 瀬川ゼミの研究活動紹介

がんばるモ〜ウ



今年度の瀬川研究室(経済地理学研究室)では、3名の3年生が都農町の居住と生活環境についての研究に取り組んでいます。本研究では、都農町の**居住環境を中心とした実態調査**を行い、都農町の地区ごとの特性の分析を実施します。年度末には研究成果として、今後の**まちづくりや地区環境整備に関する政策提案**をすることを目標にしています。建設課、まちづくり課をはじめ役場の皆様の協力をいただきながら、フィールドワーク(町内現地調査)を進めていく予定です。

## ☆☆☆☆ゼミ生紹介(地域資源創成学部3年生)☆☆☆☆



**甲斐廉人さん**  
(かいらんと)  
宮崎市出身  
趣味: 音楽活動  
動画作成



**藤田涼さん**  
(ふじたりょう)  
日向市出身  
趣味: 温泉、  
観光地めぐり



**大重滉輝さん**  
(おおしげこうき)  
宮崎市出身  
趣味: ドライブ、  
野球観戦

**ひと言:** 活動で都農町を知り、都農町の文化や自然が好きになりました。都農町のために自分が出来ることを全力で活かしたいです!

**ひと言:** 私は日向市出身で、都農町のマスカットは日本一だと思っています! 都農町の方々と様々なお話をしたいです。

**ひと言:** 私は幼い頃に都農町に住んでいたため、再び都農と関わる機会ができたことを嬉しく思います。都農町へ貢献できるよう頑張ります。

## ツノタイムズ × ツノスポーツコミッション

7月からツノタイムズ(学生自主サークル)の農工学研究科修士1年の学生2名が、顧問の瀬川先生と共に、都農スポーツコミッションU18の選手生徒との交流ワークショップを月一回開催しています。テーマは「自分を知る、自分と向き合う」。勉強の意義の見つけ方、好きなことで稼ぐために今できること、まずは自己分析をしよう、など先輩学生目線で若者らしく説明し、生徒からの「挫折をどう乗り切ったか」などの質問にも丁寧に答えていました。



### 松森優介監督から

この交流ワークショップのテーマは、クラブとして非常に重要なテーマであると考えています。普段我々がやっている形とは違うアプローチなので、子供たちにとってとてもいい刺激になっているとともに、我々大人も勉強させていただいております。

### 選手生徒の感想

今回は自己分析を行い、将来どんな仕事につけるかを自分の特性から考えました。これまでしっかり考えることがなかったので、将来のことを考える良いきっかけになりました。

# 大学生が春・夏休みに取り組む インターンシップ!

地域学部には、2~3年次の長期休暇に取り組む「国内インターンシップ」という講義があります。民間企業や自治体における1ヶ月のインターンシップを通じて、社会で求められる実践力を身に付け、学生自身が将来の進路を考える貴重な機会となっています。

また、受入れ先の企業・自治体への就職につながるケースもあります。昨年度財団にインターンシップに来た学生が中心となり、まちづくりサークルSUZUNARIが立ち上がり、町と大学生との繋がりを生むきっかけにもなりました。

### 《インターンシップ活動内容事例》

- ◎道の駅つの：学生の観察結果によるPaypay決済導入についての学生提案を受けて導入につながりました。
- ◎都農ワイン：ベーカリー開業に向けて学生が町内アンケート調査をし、商品開発などに貢献しました。

## 地域学部の

### キーワード：インターンシップとは?

「インターンシップ=就業体験」というイメージがありますが、地域学部の「国内インターンシップ」は、受け入れ側、学生双方に具体的な成果(成長)をもたらすインターンシップを目指しています。

内容はイベントの企画立案・運営、商品企画提案、アンケートやヒアリングなどの市場調査、広報・PR活動など様々です。地域学部には専属のインターンシップコーディネーターがおり、受入れ先とのプログラム設計、学生のマッチングサポートをしています。

**「学生と一緒に何かを取り組みたい!」という企業・団体の方は、財団(山内)宛ぜひご連絡ください。**



デジタル版へ

発行元：つの未来財団  
 発行日：2022年9月22日(原則毎月発行)  
 編集：宮崎大学 産学・地域連携センター  
 問い合わせ：0983-32-1270(つの未来財団)